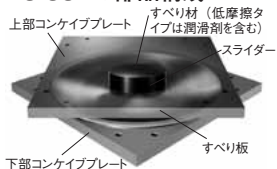


球面すべり支承 NS-SSB<sup>®</sup>

日鉄エンジニアリング（株）

球面すべり支承NS-SSBは、「振り子の原理」と「鉄素材技術」を利用した免震支承です。ステンレス製の球面加工したすべり板とスライダーで構成され、地震時はスライダーが緩やかな球面に沿って移動することで、建物のゆっくりとした揺れを実現します。鉛直荷重を支えるスライダーの支承機能に加えて復元機能と減衰機能を併せ持つので本装置単体で免震層を構成でき、配置計画が容易です。尚、上下の動きに追従できるダンパーとの併用は可能です。

## NS-SSBの部品構成



本製品は国土交通大臣認定品です。  
低摩擦タイプ：MVBR-0609、MVBR-0585  
中摩擦タイプ：MVBR-0610、MVBR-0586

※平成12年建設省告示第1446号（平成27年12月1日改正及び令和元年9月30日改正）に適合しています。

※「長周期地震動に対する免震材料の性能評価」を日本建築センターで取得しています。

[中摩擦タイプ：MVBR-0586、MVBR-0610]

※耐火被覆材との組合せで3時間耐火の大臣認定を取得しています。

[低摩擦タイプ：MVBR-0585、中摩擦タイプ：MVBR-0586]

## NS-SSBの特長

- 固有周期（接線周期）は建物重量に左右されない

振り子の原理に基づく免震効果により、固有周期は固定荷重や積載荷重の増減の影響は受けません。

- 単一部材で長周期化が可能

球面のすべり板上をスライダーが滑り、すべり板の曲率で固有周期が決まります。

- 性能のばらつきがごくわずか

鉄素材の安定性により、経年劣化もありません。固有周期を決めるすべり板は高精度な機械加工により製作しております。

- 装置がコンパクト

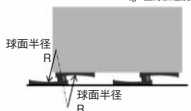
主要材料を鉄とすることで、基準面圧60N/mm<sup>2</sup>の高面圧を実現しました。

- 装置選定が容易

支持重量と水平変形量を分離して、装置サイズの選定が可能です。

$$\text{固有周期 } T = 2\pi\sqrt{2R/g}$$

(g: 重力加速度)



## NS-SSBのラインナップ

	低摩擦タイプ	中摩擦タイプ
摩擦係数	0.013±0.007 <sup>*</sup>	0.043±0.01 <sup>*</sup>
固有周期	4.5秒、6.0秒	
限界変形	450mm～950mm@50mm	
基準面圧	60N/mm <sup>2</sup>	
スライダー直径	150mm～600mm @50mm	
支持力	1,060kN～16,965kN	

<sup>\*</sup>製造ばらつき

## ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したものを除き、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や復写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、あるいは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ所有者の商標または登録商標です。